

令和3年第11回 日高市教育委員会会議録

開催の日時	令和3年11月30日（火曜日） 午後1時42分から3時43分まで
会議開催の場所	市役所501会議室
会議の公開又は非公開の別	公開。ただし人事案件については非公開。
非公開理由	個人に関する情報が含まれるため。
出席委員の氏名	中村一夫（教育長）・山川治美・島村由起男・新堀陽子・芳澤佐織
欠席委員の氏名	なし
説明員の職氏名	教育部長 大野仁・教育部参事 秋馬信之・教育総務課長 野口重昭・学校教育課長 志村憲一・学校教育課副参事 利根川典正・生涯学習課長 中條智則・文化財担当主幹 松本尚也
出席した事務局職員の職氏名	教育総務課主幹 大河原夏樹
傍聴者数	3人
会議資料の名称	会議次第・教育長報告・議案第34、35号、配布資料一覧

議題及び決定事項等

議案第34号 日高市立小・中学校管理規則の一部を改正する規則
原案どおり可決

議案第35号 令和3年度日高市一般会計補正予算（第7号）（教育委員会所管）
原案どおり可決

会議の経過

1) 前回会議録の承認事項 出席委員異議なく承認

2) 教育長報告の要旨

○校長会議、教育委員会部課長会議における教育長指示・伝達内容について報告した。

○その他、各部課長から、実施した事業等の結果と今後の予定を報告した。

3) 教育長報告についての質疑及び答弁の要旨

【教育長報告関連】

（委員）小・中学校校長・教頭候補者選考の結果が発表されたとのことだが、市内の学校の結果はいかがであったか。

（学校教育課長）校長は4人選考試験を受け1人合格、教頭も4人受け1人合格という結果であった。

- (委員) 高根中学校の学校指導訪問はどういった内容であったか。
- (学校教育課副参事) 改訂された学習指導要領にある「主体的に学習に取り組む態度」を身に付けさせるための授業改善を行った。一方的な説明の授業ではなく、子どもたちが対話したり、考えたりする時間を確保することが大切である。また、「基礎学力を伸ばす指導」については、過去の授業内容を現在の授業に生かせられず、基礎学力の定着に問題があったことから改善指導を行った。
- (委員) 中学校は教科担任制であるのに授業に連続性をもたせることができないのは、教員としての資質に疑問を感じるので、早急に改善しなければならない。小中一貫教育を行ううえで、小学生に中学校教員が教科担任として教えていくこともあると思うが、小学校と中学校では学習指導要領も違えば、子どもたちの精神、心理も違う。そのような教員では小学生に教えることは難しいと思う。徹底分析し課題を明確にして、具体的な方策を立ててほしい。また、小中一貫教育を進めるうえで、小学生の指導上の課題や履修状況が小中で共有できているのか。
- (学校教育課長) 年間指導計画を小中で突き合わせ、目線合わせを行い、中学校の学びの基礎としてつないでいけるよう、教科部会等で研究を進めている。
- (教育長) 今までは、小学校は小学校、中学校は中学校と途切れていたが、小中一貫教育に向けて、つながりを突き詰めているところである。小中一貫教育を行ううえで重要なことの一つである。
- (委員) 中学校の教員が小学校6年生の授業を行うことで、中学校の勉強で必要となる基礎知識が身に付いているかを見極め、さらに、5年生や4年生に遡って、指導方法の見直しが必要なのかなど、連続性に着目して指導計画を立てることが重要であると考えます。
- (委員) 注意しなければならないことは、中学生への接し方と、小学生への接し方が違うということである。思春期を境に子どもは大きく変わる。中学校教員が小学生と接するにはさらなる繊細さが必要と考える。
- (教育長) 中学校の教員は小学生と接することで気づくことがあり、中学生への接し方も変わっていく、小学校教員も中学生と接することで変わっていき、生徒指導も改善していくと思う。小中一貫教育の大事なところである。
- (委員) 小中一貫教育は9年生までとなるため、見るべき年齢層が増える。多くの目で見ることができるメリットはあるが、その分負担は増加する。小学校教員は中学校を学び、中学校教員は小学校を学んでいき、軋轢を生まずに、お互い高めたい。また、小学校での教科担任制によるメリット、デメリットをリアルタイムに検証し、改善しながら進めていく必要がある。
- (学校教育課長) 小学校と中学校では文化の違いの様なものがあるが、小中一貫教育を進めることによって解消していきたい。義務教育学校の先進校に話を聞くと、初めのうちは小中の違いによる課題はあるが、進めていくことによって、一つ一つ解消していく。デメリットはないということである。
- (委員) 図書館のイベントで蔵出しCDというものがあるが、どういった内容か。
- (生涯学習課長) 展示しきれずに、書庫に入れてあるCDを展示し貸し出すもので

ある。

(委員) 教員を天職と思い楽しさと魅力を感じて一生懸命取り組めば、働き方改革に逆行するという矛盾が生じる。教員を辞めてしまう人はどんな理由を持っていたか。

(教育長) 以前聞いた話では、部活動や教員としての責任の重さが負担とのことであつた。教育委員会としては、必要性の低い仕事は可能な限り削っていきたいが、教員として真に取り組むべきことは、しっかりと取り組んでもらいたい。メリハリが大切であると考えている。

(委員) 教員を採用する際の面接官の洞察力も大切である。また、新規採用された教員を伸ばしていけるかは、身近な先輩の影響が大きいと思う。さらに、教育委員会や校長が思いや方向性を理路整然と示さなければ迷いが生じてしまう。

(委員) 義務教育学校では6歳から15歳というデリケートで変化の大きい年代の子どもたちを教育していかなければならない。現在行っている教員研修の必要性を検証するとともに、子どもたちの接し方などの研修も取り入れたほうがよいと思う。

(教育長) 一方的に教える研修ではなく、テーマを持って話し合いを行う研修を取り入れていきたいと考えている。

(委員) 退職校長会から市長への要望はどういったものがあったか。

(教育長) 学校教育の充実や退職した校長を現場で役立ててほしいといった内容であつた。

(委員) 令和4年度当初人事校長ヒアリングを行って、市としてどんな課題があるか。

(学校教育課長) 校長からは、経験豊富な教員の配置や特別支援学級が増加することに伴う増員、加配等の要望があつた。市としての課題は、小中一貫教育の推進のために、小中両方の免許を所持している教員の配置や小規模な中学校では、9教科全ての教員が配置されておらず、非常勤講師の対応となっているが、減員傾向にあるので県へ要望していきたい。

(委員) 校長の理解は進んでいるか。

(学校教育課長) 小中一貫教育を推進するための人事配置を行う旨は説明している。

(委員) 学校指導訪問のねらいの中に優秀な教員の発掘と指導力不足教員の把握というものがあると思うが状況はどうか。

(学校教育課副参事) 校長から授業の様子や子どもたちへの接し方、保護者への対応、勤務状況等を確認しており、今のところ問題のある教員の報告はあがっていない。

(委員) タブレット端末の活用については、便利な反面、課題もあると思う。音楽のテストでタブレットを活用したり、校庭などで写真を撮り絵日記のように加工して、クラスで共有しクラスメートからコメントをもらうといった授業を行っている。よい取組である反面、コメントが多い子や少ない子などの差や内容まで全て見えてしまうので、悲しい思いをしてしまう子もいると思う。取り扱いにはそういうことへの配慮もお願いしたい。また、チャット機能で先生が発信したこ

とに対して、子どもたちのチャットが始まり時間を忘れてしまったり、拘束されてしまっているという話を聞いた。

(学校教育課長) 子ども同士の自由なチャットはできない設定となっているが、先生のコメントに対するチャットはできるようになっている。事実確認をして改善していきたい。

(委員) 休日にタブレット対応をすることによる先生の負担増も心配である。

(教育長) タブレット端末の利用が始まって課題も見えてきたと思うので、洗い出しを行い情報推進会議などで対応していきたい。

(委員) 英検対策で行った English 日高塾について、受講した生徒からは、自信につながり、ためになったという話を聞いた。

(学校教育課副参事) 今年度の課題を踏まえて、来年度の講座つなげていきたい。

(委員) 英検の合格率も一つの指標になる。合格率の高かった学校の指導方法を分析することも大切である。

(委員) 民間の検定等を学力を伸ばしていくきっかけとして活用していくことはよい取組であると思う。

4) 議案についての質疑及び答弁の要旨

議案第 34 号 日高市立小・中学校管理規則の一部を改正する規則

【質疑なし】

議案第 35 号 令和 3 年度日高市一般会計補正予算 (第 7 号) (教育委員会所管)

(委員) 高萩北中学校改修の工事内容は。

(教育総務課長) 令和 4 年度に第 1 期工事として普通教室棟を行い、令和 5 年度に第 2 期工事として特別教室棟、プール棟を行う予定である。

(委員) 以前に行った耐震改修の工事費はいくらであったか。

(教育総務課長) 約 5 億 6,000 万円である。

(委員) 今回は耐震を行わずに改修のみであるが、工事費が高額に思えるが。

(教育総務課長) 長寿命化を図るため、外壁の塗装や給水管、電気配線の入れ替え LED 化など全面的に行う予定である。

5) その他

(1) 次回定例会の日程等について

○12月定例会：12月21日（火曜日）午後1時40分から 委員了承

○1月定例会：1月26日（水曜日）午後1時40分から 委員了承